

北海道教育委員会教育長 様

北海道札幌北高等学校長 印

次のとおり令和6年度(2024年度)の学校評価(定時制課程)について報告します。

1 本年度の重点目標

- (1) 学力の充実向上

(2) 基本的生活習慣の確立

(3) 進路指導の充実

(4) 特別活動の奨励

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
教育課程	・本校の生徒の姿や地域の実情等に応じた教育課程を編成し、実施することができた。今後、検証を進める。 ・基礎・基本を軸とした教育活動を進め、本校の特色である3修制、資格取得の支援などを推進することができた。	・生徒の実態に即した、一人ひとりの可能性を最大限に引き出す教育の推進をして欲しい。 ・基礎学力の定着、進路実現を目指した教育活動を展開して欲しい。
改善方策	・生徒の実態・地域の実情を踏まえた持続可能な教育課程の編成を図る。 ・授業実施時数の確保に努め、基礎学力の定着を図る。	
学習指導	・生徒の学ぶ意欲を引き出し、放課後の学習会や補習授業を実施し、生徒が望む学習支援を心がけた。 ・ICTを活用した授業実践が教員間で広まり授業改善を図ることができた。 ・習熟度別授業等で個に応じた授業展開を行うことができた。	・今後も、特色ある教育活動を推進し、外部機関との連携を積極的に活用することは大切である。 ・学びの機会を保障し、質の高い学習を提供して欲しい。生徒一人ひとりが自分のよさや可能性を認識できる教育を推進して欲しい。
改善方策	・継続した習熟度別授業、外国語ではT・Tを導入し、個に応じた支援を充実させる。 ・授業公開や授業評価などを通して、授業改善に努める。 ・欠席が多い生徒について、学習が遅れないような指導方法の工夫に努める。	
生徒指導	・職員全体で常に生徒の状況を把握し、個に応じた適切な指導を行うことができた。 ・SCやSSWとの連携を積極的に実施した。 ・外部機関と連携することにより効果的な教育実践を行うことができた。	・スクールカウンセラーや外部機関との連携は評価できる。生徒の教育的ニーズに応じた校内支援体制の充実を図り、生徒が安心して学べる魅力ある学校づくりを進めて欲しい。 ・他者との協働を通して、多様性を重視した教育活動を推進して欲しい。
改善方策	・特別支援教育への理解と充実を図るための研修活動の一層の充実と外部機関との連携強化に努める。 ・自立し、社会性を身に付けさせることができるような生徒指導の在り方について、引き続き研修を深める。	
進路指導	・積極的に外部機関と連携を図り、進路実現を図った。特に教育局から派遣されるキャリアプランニングスーパーバイザーとの継続的な連携が、高い就職率に繋がっている。	・今後の長期的展望を元にした進路活動を進めて欲しい。 ・自己の特性を知り、生かせる進路を考えさせ、社会で生き抜く力を身につけて欲しい。
改善方策	・外部の専門機関や民間支援団体の活用と連携を一層強化し、進路指導の充実を図る。 ・進路に関する資料の収集、整備に努め、保護者に進路指導に関する必要な情報を随時提供するように努める。 ・個々の生徒の支援について、より充実したキャリアカウンセリング体制の構築を図る。	
公表方法	ホームページ(定時制課程)に掲載する。 学校だよりに掲載し、配布する。	

3 添付資料

- (1) 令和6年度 自己評価書

(2) 令和6年度 学校関係者評価書
- (教員用アンケート集計結果)

(保護者アンケート集計結果)